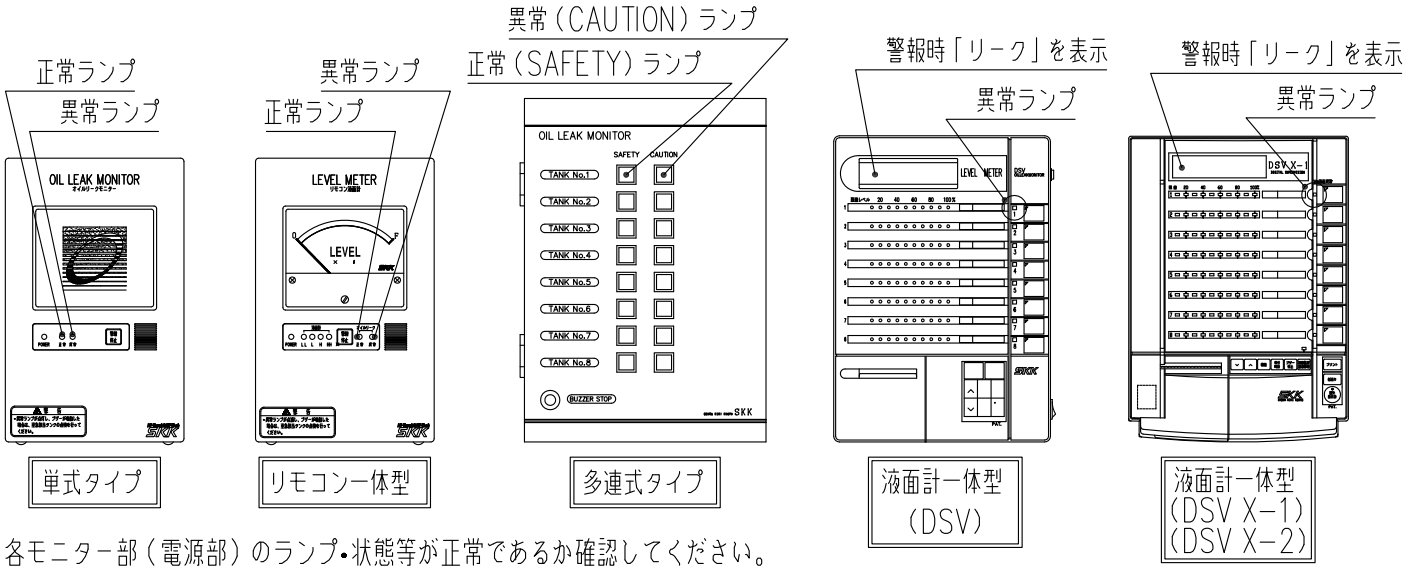
ＳＦ二重殻タンク用オイルリークモニター作動点検要領書



1．各モニター部（電源部）のランプ・状態等が正常であるか確認してください。

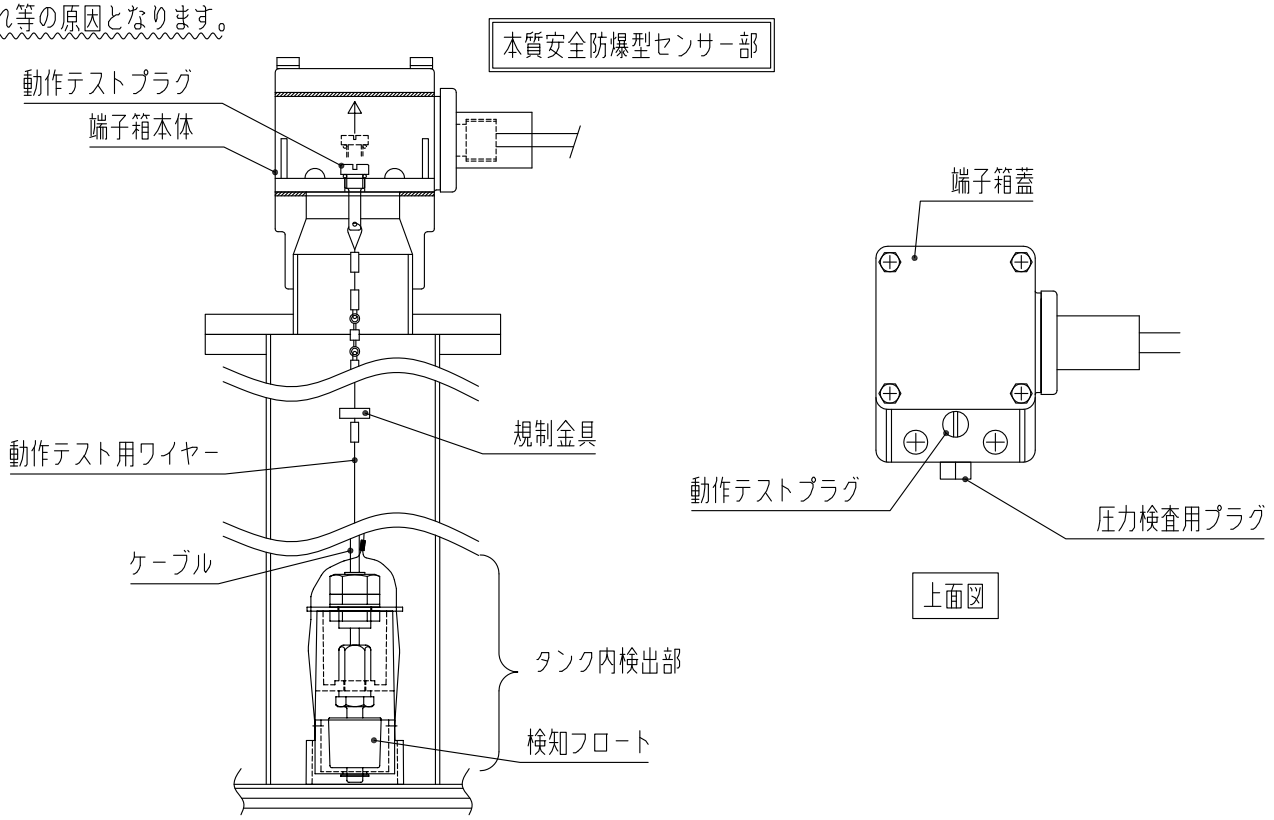
2．タンク上部の各センサーに設けられた動作テストプラグ（下図参照）を、マイナスドライバー等でゆっくり回して取り外してください。同プラグには検知フロートに接続された動作テスト用ワイヤーが取付けられており、同プラグを持ち上げる（ワイヤーのたるみがなくなり、重さが感じられる位置からさらに３０ｍｍ程度持ち上げる）ことで検知フロートが引き上げられます。この状態を２０秒以上保持すると、警報ブザーが鳴動し異常ランプが点灯します。

※ワイヤーには絡まり防止のため、規制金具が取り付けられています。

※液面計一体型（DSV、DSV X−1・X−2）の場合は、表示部に リーク の文字が表示され、異常内容がプリントアウトされます。また、多連式タイプの場合は、フロートを持ち上げてすぐに警報ブザーが鳴動し異常ランプが点灯します。

3．点検終了後は、静かにワイヤーを戻し、モニター部（電源部）の異常ランプまたは表示の点灯が消えるのを確認した上で、同プラグをマイナスドライバー等で確実に締め込んでください。但し、液面計一体型（DSV、DSV X−1・X−2）の場合は、消灯まで１０秒程度かかります。

※プラグを締め込む際は、パッキン面に付着したゴミ等を完全に除去し、確実に締め込んでください。締め込みが不足すると入水・ベーパー漏れ等の原因となります。



SKK 昭和機器工業株式会社